

5 单元构想

第2学年「いろんな動きでパワーアップ！！岡田ボールパークで遊ぼう☆」指導計画

特 性

- 楽しく運動しながら、様々な運動感覚をバランスよく高めたり、基本的な様々な動きを身に付けたりすることができる。
- 様々な課題に取り組んだり、友達と関わり合いながら活動したりすることを通して、伸び伸びと体を動かす楽しさや心地よさを味わうことにより、子どもを運動好きにすることができる。
- 楽しい動きや用具を選んだり、それを伝えたりする活動を行うことで、子どもに意思決定の力や伝える力を養うことができる。

子どもの実態

- 実態 1** 多くの子どもが、体を動かす楽しさや心地よさを味わいながら、これまでに学習した基本的な動きを身に付けつつある。しかし、体のバランス、用具の操作、力試しの運動と細かく見ていくと、苦手な内容がある子どももいる。
- 実態 2** 新しいことに興味をもち、できるようにになりたいと思っているが、苦手な領域の運動では自分ができないだろうという意識が先行し、実施をためらう児童も見受けられる。
- 実態 3** 体を動かすと気持ちがいよいことに気付き、安全に、友達と楽しく運動できる。しかし、友達の動きのよさを見付ける児童はいるが、それを生かすまでには至っていない。

身に付けさせたい力

- 1 体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体のバランスをとったり、移動をしたり、用具を操作したり、力試しをしたりする運動遊びができる。
- 2 きまりを守ったり、場や用具の安全に気を付けたりしながら、仲間とともに伸び伸びと運動遊びに取り組むことができる。
- 3 多様な動きをつくる運動の行い方を知り、動きや用具を工夫し、楽しく運動できる行い方を選んだり伝えたりすることができる。

愛 顔 (え が お) い っ ぱ い 体 育 学 習

学習過程	時間	子どもの活動及び思い	指導上の留意点	評価規準 〈評価観点〉（評価方法）
一次 知る	1	<div>「ボールパーク」で遊ぼう！</div> <div>オリエンテーション</div> <div>① 「ボールパーク」の説明 ② 「い〜よ体操」の説明と練習 ③ 多様な動きをつくる運動遊びの体験（「ボールパーク」）</div> <div>こんな遊びがあるんだな。</div> <div>もっといろんな動きができるようになりたいな。</div> <div>「い〜よ体操」も楽しみな。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ボールパーク」の3つの運動遊びについて説明し、多様な動きをつくる運動遊びへの興味・関心を高める。 ○ 「『なかま』を頭文字にした合い言葉」を掲示して、毎時間、活動の目的を意識させる。 ○ 学習のねらいや進め方、ルールを伝えたり、「い〜よ体操」や多様な動きをつくる運動遊びを教師とともに体験したりすることで、子どもに今後の学習の見通しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のきまりを守り、安全に気を付けながら運動しようとしている。 〈態度〉（観察） ○ 様々な運動遊びの仕方を知り、その楽しさを感じたり、次時の活動への意欲を高めたりしている。 〈態度〉（観察）
二次 身に付ける	2 3 4 5 6 7 本時	<div>「岡田ボールパーク」をつくろう！</div> <div> <div>～リズムエリア～ 【体を移動する運動遊び&用具（ボール）を操作する運動遊び】</div> <div>① 「い〜よ体操」</div> <div>② 本時の課題の確認</div> <div>③ ミラーゲーム（合い言葉の確認）</div> <div>④ ペア活動</div> <div>⑤ グループ活動</div> <div>⑥ 振り返り</div> </div> <div> <div>～ひねりエリア～ 【体のバランスをとる運動遊び&用具を操作する運動遊び】</div> <div>① 「い〜よ体操」にも慣れたよ。</div> <div>② チームで「なかまタイム」の競争をしたのがおもしろかったよ。</div> </div> <div> <div>～ふんばりエリア～ 【力試しの運動遊び&用具（ボール）を操作する運動遊び】</div> <div>① 〇〇の動きがばくは得意だな。</div> <div>② 〇〇君を上手に引っ張ることができたよ。</div> </div> <div>1 単位時間の流れA（動きを確認する時間）</div> <div>1 単位時間の流れB（動きを選び、工夫する時間） ①・②・⑥はAと同じ</div> <div>③ もとの運動遊びの確認</div> <div>④ 「なかまタイム」</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの実態を考慮したり、身に付けさせたい力を明確にしたりした上で、運動遊びを精選する。 ○ 1 単位時間の流れをA（動きを確認する時間）とB（動きを選び、工夫する時間）に区別して行うことで、子どもが毎時間の課題や活動の見通しをもつことができるようにする。 ○ 1 単位時間 A のペアやグループ活動の中で、互いの動きを見合い、気付いたことを伝えるように促すことで、子どもが運動遊びに取り組む仲間を見たり支えたりする楽しさを味わうことができる機会を設ける。 ○ 投げる力の素地を養うために、単元を通してペア活動にキャッチボールを取り入れる。その際、3種類の投げる動きに関するオノマトペを提示することで、運動のポイントを意識させながら、仲間との関わりを深めることができるようにする。 ○ 子どものよい動きや友達のよい動きを見つけた子どもを賞賛したり、全体に紹介したりして、子どもの運動遊びへの意欲を高める。 ○ グループでの運動遊びを基に、楽しい動きや用具を試行錯誤しながら選んでいく時間を「なかまタイム」として設定し、運動遊びの楽しさに気付かせる。 ○ 「なかまタイム」で子どもが主体的に動きや用具を工夫して、楽しく運動できる行い方を選ぶことができるように、試行錯誤する内容を段階的に提示する。 ○ 「なかまタイム」を①相談②紹介③共有④競争の順に行うことで、子どもが目的意識をもって活動できるようにする。 ○ 子どもの様子を写真や動画に収めたり、学習カードを書かせたりして、子どもが見つけた多様な運動遊びを蓄積し、三次の活動で生かすことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体のバランスをとる動きや体を移動する動き、用具を操作する動きや力試しの動きなどを身に付けている。 〈運動〉（観察） ○ 様々な動きの仕方を知り、その楽しさを感じたり、友達と仲良く活動したりしている。 〈態度〉（観察・学習カード） ○ 楽しい運動の行い方を選んだり、伝え合ったりしている。 〈思・判〉（観察・学習カード）
三次 広げる	8	<div>「岡田ボールパーク」で遊ぼう！</div> <div>① 「い〜よ体操」 ② 本時の課題の確認 ③ 多様な動きをつくる運動遊び（「岡田ボールパーク」） ④ 振り返り</div> <div>みんなが見つけた遊びは楽しかったよ。</div> <div>いろんな動きができてよかったね。</div> <div>あの遊びなら休み時間にできるからみんなでやろうよ。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの運動遊びから、仲間との関わりが深まったり、様々な運動感覚を高めたりする運動遊びを「岡田ボールパーク」の運動遊びとして設定する。 ○ 振り返りの際に、できるようになった動きや楽しく活動できた運動遊びを紹介し合うことで、体づくり運動の楽しさを共有できるようにする。 ○ 遊具や校内の条件を生かして、運動遊びの場を設定して伝えることで、休み時間の運動の日常化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体のバランスをとる動きや体を移動する動き、用具を操作する動きや力試しの動きなどを身に付けている。 〈運動〉（観察）